

## 【DTS】クラウド環境の設定不備を検出するサービスを提供開始

### 継続的なセキュリティリスクの可視化で情報漏洩を防止

株式会社DTS（東京都中央区、代表取締役社長 北村 友朗）は、お客様のクラウド環境を診断し、設定不備の検出、検出結果の通知、診断レポートの提供を行う「クラウド設定監査サービス」を3月22日から提供開始します。

クラウド利用の増加に伴い、セキュリティリスクへの対応が大きな課題となっています。特に近年では情報漏洩が増加しており、その原因の多くは人為的なミスによるクラウド環境の設定不備と言われています。本サービスではトレンドマイクロ社の製品「Cloud One Conformity (C1C)」の導入・構築をし、AWS Well Architected Framework、ISO 27001、NIST、PCI DSS といったフレームワークを基にクラウド環境の設定不備を検知してセキュリティリスクを可視化。情報漏洩などを未然に防ぐことができます。

DTSでは今後も、お客様のクラウド環境を安全にご利用いただくためのサービスを順次提供していく予定です。

#### ■DTSの「クラウド設定監査サービス」

クラウド設定監査サービスでは、お客様のクラウド環境の診断、設定不備の検出、検出結果の通知、診断レポートの提供を行います。

メニューとして、継続的に診断する「クラウドモニタリング」と、お客様の任意のタイミングで診断を実施する「スポット診断」の2種類を提供します。

#### <クラウド設定監査サービスの概要>



※1 任意のタイミングでの診断も可能(スポット診断)

## <DTSが提供する2種類のメニューと各機能>

メニュー	機能	機能概要
クラウド モニタリング	クラウド設定診断	継続的なクラウド設定の診断を実施し、設定不備を検出します。 検出後、アラート通知(メール等)を行い、内容を連携します。
	月次レポート	各リソースのクラウド設定の診断結果をレポートにまとめ、提供します。
	週次レポート	一週間分のクラウド設定の診断結果をレポートにまとめ、提供します。
	コンプライアンス レポート	お客様のクラウド環境のコンプライアンス適応状況についてまとめたレポートを提供します。
スポット診断	スポット診断 レポート	お客様の任意のタイミング(テストフェーズ、リリース後等)でクラウド設定の診断を実施し、診断結果をレポートにまとめ、提供します。

## <本サービスが想定するお客様>

- ・セキュリティ設定が正しいか不安な方
- ・マルチクラウド環境でCSPM(Cloud Security Posture Management)製品を利用したい方
- ・定期的にクラウド設定の診断を行いたい方
- ・必要に応じてクラウド設定の診断を行いたい方
- ・診断結果をレポートにて確認したい方

**【提供開始日】** 2023年3月22日

**【提供価格】** お客様環境により異なります。詳細は、下記までお問い合わせください。

## <クラウド設定監査サービスの詳細について>

本サービスの詳細は、以下ソリューションページをご参照ください。

[https://dts-digital.jp/cloud/service/cloud\\_audit/](https://dts-digital.jp/cloud/service/cloud_audit/)

## <今後のクラウド関連サービス提供予定>

DTSはクラウド基盤ソリューションとして、AWS や Azure 向けソリューションに加えて、マルチクラウドにも対応したクラウドセキュリティソリューションも提供しています。

クラウドセキュリティソリューションでは、クラウド上のサーバーやコンテナのセキュリティ対策など、クラウド基盤に関するセキュリティサービスを提供してまいりました。

今後は、これまでのセキュリティサービスに加えて、よりクラウドを安全にご利用いただくための IDaaS<sup>※1</sup> や PAM<sup>※2</sup> といったクラウドアカウントに関するセキュリティサービスや、SIEM<sup>※3</sup> や SOAR<sup>※4</sup> といったクラウドセキュリティの統合運用サービスを提供していく予定です。

※1 IDaaS: Identity as a Service の略。クラウド経由で ID/パスワード管理、シングルサインオンなどを提供するサービス。

※2 PAM: Privileged Access Management の略。特権アカウントのパスワードやアクセスを管理するための仕組み。

※3 SIEM: Security Information and Event Management の略。ログの統合管理や相関分析を行うための仕組み。

※4 SOAR: Security Orchestration, Automation and Response の略。セキュリティ運用業務の効率化や自動化を行うための仕組み。

<株式会社D T Sの概要>

D T Sは、総合力を備えたシステムインテグレーター (SIer) として、金融業、産業・公共、通信業向けサービスを柱に、コンサルティングからシステム設計・開発、基盤構築・運用までをワンストップで提供します。

また、D T Sグループは、システムに関わるさまざまな専門性を活かした付加価値の高いサービスを提供します。

2020年 AWS アドバンスドティアサービスパートナー認定。

2022年 AWS Well-Architected パートナープログラム認定。

<https://www.dts.co.jp/>

本社所在地：〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-23-1 エンパイヤビル



<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社D T S デジタルソリューション営業部 クラウドセールス担当 高橋、天野

TEL : 03-5615-5920 E-mail : dsol@dts.co.jp

<報道機関からのお問い合わせ先>

株式会社D T S 広報部 担当：熊田、新貝

TEL : 03-6914-5463 E-mail : press@dts.co.jp

※AWS、アマゾンウェブサービスの商標は、Amazon.com, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。